

一房のぶどう



第20号

平成22年9月15日 編集・発行／あきる野市教育委員会
〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)

あきる野市・栗原市 中学生友好親善交流会 ～今年も本市で開催～

7月28日(水)から30日(金)までの3日間、友好姉妹都市の宮城県栗原市と本市の中学生による友好親善交流会が行われました。この交流事業は、「五日市憲法草案」を起草した「千葉卓三郎」先生が結ぶ縁で、出身地である栗原市(旧志波姫町)と平成元年から行われています。今年も、栗原市から中学生36人と引率者10人が訪れました。二日目の交流事業では、生徒会の代表による学校紹介や意見交換を行う「生徒会交流」と軟式野球部の選抜チームによる交流試合の「部活動交流」を行いました。

特に、市民球場で行われた交流試合は、あいにくの雨でしたが、何とか実施したいとの思いで予定どおりの七回まで行いました。

その後、生徒たちは、秋川フアーマーズセンターでバーベキューの昼食を取り、深沢家屋敷

跡を見学した後、深沢自治会、森林レンジャーの協力を得て栗原市の木(ヤマボウシ)の植樹を一緒に行いました。その時の記念のボードが真光院駐車場広場にありますのでお寄りの際には是非ともご覧ください。

3日間の交流を通じ、徐々にですが、生徒たちの親近感が深まって行きました。

来年は、あきる野市の生徒たちが訪問する年に当たります。どんな交流ができるか今から楽しみです。



軟式野球部の選抜チームによる「部活動交流」



生徒たちの名前が記された植樹の記念ボード



「生徒会交流」では活発な意見交換が行われました

あきる野市・羽村市共同開催 「大島・子ども体験塾」

8月6日(金)から10日(火)まで、あきる野市と羽村市の共同開催による「大島・子ども体験塾」が行われました。各市35人の小中学生(小5～中2)が参加し、東京都大島町で自然や歴史・文化に触れる様々な体験、御神火太鼓を通じた大島の小学生との交流体験をしました。子どもたちは、地域や年齢の異なる新しい仲間を始め戸惑いながらも、大きな花火を見て一緒に感動したり、励まし合いながら三原山を登ったり、現地での体験を通じてお互いの距離を縮めていきました。そして、待ちに待った海水浴では皆すっかり打ち解け、その表情は笑顔であふれていました。

最終日の夜、体験塾最後のプログラムは一人一人が照らすろうそくの光の中で、体験塾の感想を伝え合う、キャンドルファイヤーでした。「新

しい友達がたくさんできた」「登山や海水浴が楽しかった」など、全員が自分の言葉でしっかりと気持ちを伝え、感動的な夜となりました。

ひとまりり成長した子どもたちは、新たな友情とたくさんのおもい出を胸に、あきる野へ帰って来ました。



さあ、これから三原山登山！大島体験塾スタートの記念撮影